



保管用

ミライの金属探知器

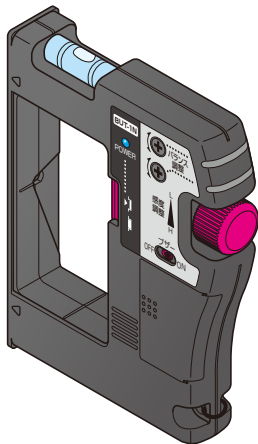
ポックスタッカー®

BUT-1N

水平器付

取扱説明書

お買い上げありがとうございました。
ご使用になる前に、この取扱説明書を
すべてよくお読みのうえ、正しく
ご使用ください。
又、この取扱説明書は、お使いになる
方がいつでも見られる所に必ず保
管してください。



安全上のご注意……………1

各部名称・使用上のご注意………2

使用方法(準備)……………3

探知要領……………4

スライドボックスの探知…5・6

ゲージの使用方法………巻末

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しくご使用ください。

⚠ 注意

誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意です。

「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 注意

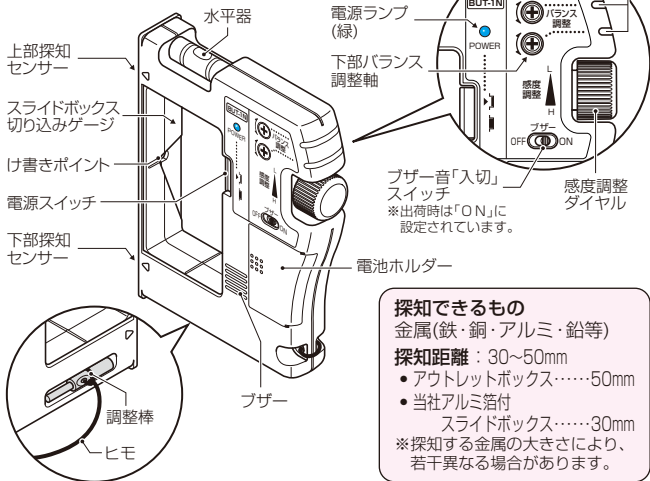
- 電池を火中に投入しないでください。
※破裂したり有害物質の出る恐れがあります。
- 誤動作すると、誤開口の原因となります。下記事項にご注意ください。
 - 周囲温度が0℃～40℃の間でご使用ください。
※使用温度外では正しい動作をしない場合があります。
 - 電池容量をお調べください。
※電池切れのものは、誤動作、液もれによる故障の原因になります。
 - 雨のあたる場所では使用しないでください。
※水濡れは故障の原因になります。
 - 本体を分解したり、改造したりしないでください。
※誤動作、故障の原因になります。
(修理はお買い求めの販売店に依頼してください。)
 - 高温場所に放置しないでください。
※温度が50℃以上になるような場所(夏季の車内等)に放置したり、保管しないでください。内部構造に悪影響をあたえ、故障の原因になります。
- 落としたり、衝撃を与えた場合は故障の恐れがあります。正常に作動するか確認してからご使用ください。

各部名称

■電源：単四アルカリ乾電池4本(別売)

■連続使用時間：72時間

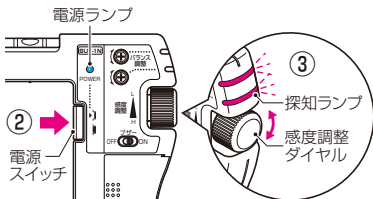
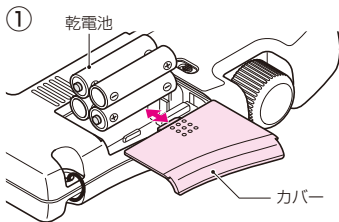
(実際の使用状況により異なります。)



使用上のご注意

- 探知器を持つ手に指輪・腕時計等の金属物ある場合は、指輪等に反応し誤動作しますのでご注意ください。
- 電池は必ず、アルカリ乾電池をご使用ください。(マンガン乾電池・充電電池不可)
- 電池をお調べください。電池切れのものは液もれにより、故障の原因になります。
- 新しい電池と入れ替える時、電池は4本とも新しいものと取替え、必ず同じ種類の電池を入れてください。
- 感度調整は、探知面に金属物がないことを確認して行ってください。
- バランス調整は必ず調整棒で行ってください。故障の原因となります。

使用方法(準備)

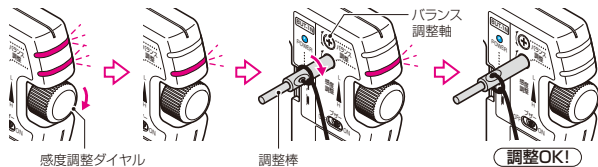


①電池ホルダーのカバーを外し、乾電池(別売:単四×4)をセットし、カバーを元通りはめ込みます。

②電源スイッチを押します。
※スイッチはラッチ式ではありません。押し続けている間のみONになります。
※緑色の電源ランプが点灯します。

③探知面を金属物が無い方向に向け、感度調整ダイヤルを左に回して、探知ランプを点灯させた後、探知ランプが消灯する位置までゆっくり右に回します。
※その位置が最も感度が強い状態です。

※ランプ消灯が上下同時でない場合は、次の方法でバランス調整を行ってください。



①上下どちらかのランプがちょうど消える位置まで感度調整ダイヤルを回します。

②ランプが点灯している側のバランス調整軸を調整棒で、点灯しているランプがちょうど消える位置までゆっくり右へ回します。

※メーカー出荷時に調整済みですので、少しの回転(5°程度)で調整可能です。半回転以上回しても調整できない場合は、故障が考えられますので弊社営業所へお問い合わせください。

※指定外の周囲温度の場合、感度調整ダイヤルを回し切っても探知ランプが反応しないことがあります。指定の周囲温度でご使用ください。

探知要領

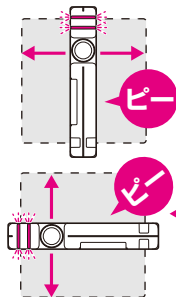
- ①探知面を探索したい箇所に向け、上下左右に動かします。
- ②金属を探知すると探知ランプが点灯し、ブザーが鳴ります。

ランプ点灯位置とブザー音

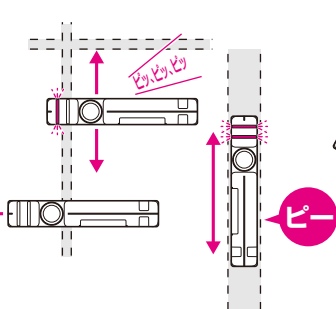
探知センサー箇所	ランプ点灯位置		ブザー音
	上	下	
上	●		ピッ、ピッ、ピッ (断続音)
下		●	ピッ、ピッ、ピッ (断続音)
上下	●	●	ピー 連続音

■探知物の形状によってランプの点灯状況とブザー音が変わります。
埋設物の形状をよく把握して判別してください。

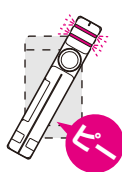
アウトレットボックス等



鉄筋・パイプ等



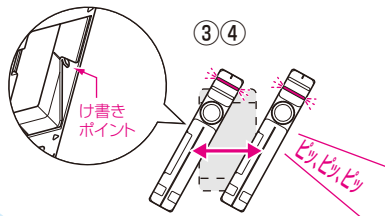
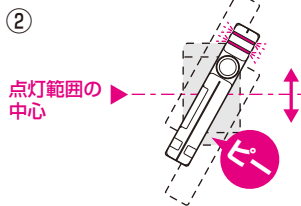
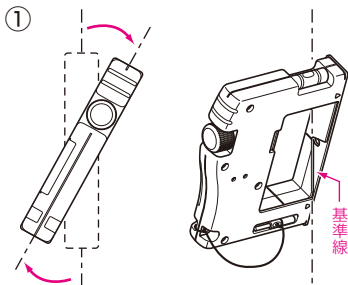
スライドボックス



スライドボックスの探知

位置の割り出し

ミライのスライドボックスはアルミ箔付なのでボックス探知が簡単にできます。

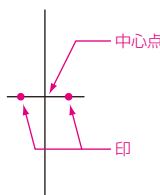
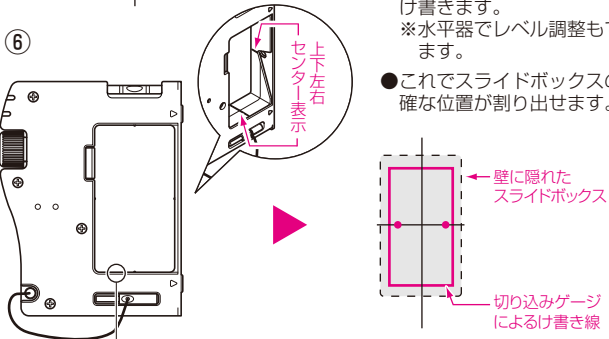


- ① 先ず、探知器を**基準線が垂直**になるように右に傾け、壁面を探索し大まかなボックス位置を把握します。
- ② 上下のランプが点灯した位置の**ほぼ中心**で止めます。
- ③ 次に、探知器をその位置より右へ移動し、**上部ランプが消えた位置**で止め、け書きポイントより印を付けます。
- ④ 今度は左に移動し、**下部ランプが消えた位置**で止め、け書きポイントより印を付けます。

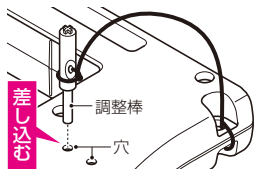
ご注意

断熱材のアルミ箔を感知する場合があります。誤探知にご注意ください。

切り込み線のけ書き

- ⑤
- 
- ⑥
- 
- ⑤左右2ヶ所に付けた印を結び、更にその線の中心から垂直に線を引き十字線をけ書きます。
(この中心点がボックスの中心です。)
- ⑥探知器の切り込みゲージのセンター表示に十字線を合わせ、ゲージに沿って切り込み線をけ書きます。
※水平器でレベル調整もできます。
- これでスライドボックスの正確な位置が割り出せます。

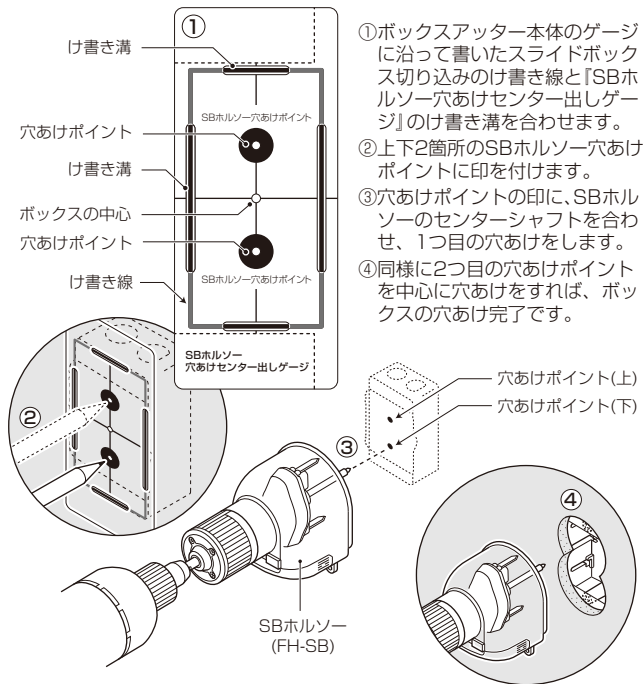
電池の交換



- 緑色の電源ランプが点灯しなくなったら電池を交換してください。

※電池ホルダーのカバーを外し、電池ホルダーの裏側の穴(×2)に調整棒を差し込むことで簡単に電池の取り外しができます。

添付の『SBホルソー穴あけセンター出しゲージ』を使用すれば、SBホルソーでボックス穴をあけることができます。



- ①ボックスアッター本体のゲージに沿って書いたスライドボックス切り込みのけ書き線と『SBホルソー穴あけセンター出しゲージ』のけ書き溝を合わせます。
- ②上下2箇所のSBホルソー穴あけポイントに印を付けます。
- ③穴あけポイントの印に、SBホルソーのセンターシャフトを合わせ、1つ目の穴あけをします。
- ④同様に2つ目の穴あけポイントを中心に穴あけをすれば、ボックスの穴あけ完了です。



未来工業株式会社

住 所：岐阜県安八郡輪之内町楡俣1695-1 〒503-0201
 T E L：(0584)68-0008(代) 連絡先：営業管理課 SM7061